

第4学年 国語科学習指導案

1組 児童 男子17名 女子18名 計35名 指導者 大隅 理香子

1 説明を工夫して、リーフレットを作ろう

教材「アップとルーズで伝える」著者名中谷 日出 「仕事リーフレットを作ろう」(光村図書4年下)

<身に付けたい力>

- 段落が対比や類比など文章全体の中で、どのような役割を果たしているかを読み取る力
- 写真と文章を対応させながら、必要な情報を選択しわかりやすく表現する力

言語活動

委員会リーフレットを作ろう

2 単元について

第3・4学年における読むことの目標は「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる」である。また、書くことの目標は、「相手や目的に応じ、調べたことが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身につけさせるとともに、工夫をしながら書こうとする態度を育てる」があげられている。

本単元では、写真と文章を「対比して述べる」という説明の工夫や「アップ」と「ルーズ」をものの見方、考え方として身につけた力を生かして、「委員会リーフレット」を言語活動として設定した。このリーフレットは、来年度委員会に入る4年生の友達に紹介することを目的としている。次単元の「書くこと」の「仕事リーフレット作り」と密接に関係することから、「読むこと」「書くこと」を組み合わせることにより、「読むこと」で身につけた力を使って「リーフレット作り」をすることが、より効果的に実現できると考え、領域を複合させた単元を構想した。

本教材「アップとルーズで伝える」は、私たちが最も目にしているメディアであるテレビの映像技法を中心に述べたものである。メディアを通じて受け取っている情報が、一定の価値判断・意図に基づいて取捨選択されたものであることに気づかせ相対化する視点を与えていく。また、分かりやすい説明とはどういうものであるか学ぶのに適した文章である。

写真と文章を対応させて読みながら、対比的な段落関係をつかみ、それを含んだ文章全体を捉えることを行う。写真を説明する段落を見つけ、段落どうしや段落の中が、対比関係が用いられているのに気づかせたうえで、文章全体の中でどのような役割を果たしているかを考えさせたい。また、「委員会リーフレット作り」のときは、文末表現に意識を向けることや対比して述べることに配慮していく。

【単元の目標】

- 段落が全体の中でどのような役割を果たしているか、「アップ」と「ルーズ」の特徴を考えながら読むことができる。
- 写真と文章を対応させながら、段落相互の関係に注意して、文章を書くことができる。

<単元の評価規準>

国語への関心・意欲・態度

- ・写真と文章を対応させて、説明的文章に興味を持って読もうとしている。

読む能力

- ・文章全体の構成に目を向けて読み、段落相互の関係を理解している。(1)イ
- ・写真と本文の対応関係を理解している。(1)エ
- ・対比・類似・補足・例示など、本文内の内容の関係の幾つかを理解している。(1)オ

書く能力

- ・内容のまとめりごとに段落に書き分けている。(1)イ
- ・書くことの中心を明確にし、事例を挙げ、文章に対応した写真を用いて書いている。(1)ウ

言語についての知識・理解・技能

- ・指示語や接続語の役割を理解している。(1)イ(エ)

<児童の実態>

子ども達はこれまで、説明的な文章の学習として、「すがたをかえる大豆」では、接続語や指示語に気をつけながら読み、中心文の見つけ方や要点のまとめ方を学習してきた。また、段落どうしの関係を考えながら写真と対応させて読み、説明の工夫について学習してきた。これらの学習を通して、文末表現から問いの文を見つけたり、接続語からまとめの文をとらえたりできるようになってきている。また、事実と考えを読みわけることができるようになってきている。しかし、文章の要点や細かい点に注意して読んだり、段落相互の関係を考えながら読んだりすることは十分とはいえない児童もいる。

子ども達はペア学習には抵抗を見せず、自分の考えを伝えることができるようになってきている。また、中には、児童同士でアドバイスもできるようになってきている。

3 学習指導計画 (全18時間)

＜本単元における必要な既習事項＞ ・指示語 ・接続語 ・中心文 ・段落相互の関係 ・文章全体の(段落)構成図			
時	目 標	学 習 活 動	評価規準 (評価方法)
第一次 単元の学習のねらいを知り、学習の見通しを持つ。			
1 2 3	「委員会リーフレット」を作り、学年で紹介し合うという学習のゴールを知り、学習計画を立てることができる。	○学習課題を設定し、単元の見通しを持つ。 ・「仕事リーフレットを作ろう」を読み、学習の内容を把握し、相手意識・目的意識を確認する。 ・「アップとルーズで伝える」から上手な説明の仕方をみつけることに興味を持ち、リーフレット作りまでの学習計画を立てる。 ・映像からアップとルーズの違いを大まかに捉える。	【関】リーフレットを作るという活動を理解し活動に意欲を持っている。(観察) 【関】説明文の書き方に関心を持ち、「アップとルーズで伝える」の説明の特徴をみつけようとしている。(観察・発言)
第二次 筆者の説明のしかたについて読み深める。			
4	はじめの段落の写真と文章の対応関係を読み、段落相互の関係をつかむことができる。	○段落相互の関係を読み、文の組み立てを考える。 ・写真と文章の対応を考える。 ・第3段落と1・2段落の関係を考える *1～3段落までの「上手な説明の仕方」を書く。	【関】本文から上手な説明の仕方をみつけようとしている。(観察) 【読】写真と文章を対応させる説明の仕方を読み取っている。(発言・ノート)
5	中の段落の写真と文章の対応関係を読み、「アップ」と「ルーズ」の長所と短所や段落相互の関係をつかむことができる。	○段落相互の関係を考えながら読む。 ・写真と文章の対応を考える。 ・「アップ」と「ルーズ」の長所と短所を捉える。 ・第6段落と4・5段落の関係を考える *4～6段落までの「上手な説明の仕方」を書く。	【読】写真と文章を対応させる説明の仕方を読み取っている。(発言・ノート) 【言】文と文の意味のつながりに果たす指示語や接続語の役割を理解している。(発言)
6 本 時	終わりの段落を読み、「アップ」と「ルーズ」が目的に応じて使い分けられていることを読み取るとともに、段落相互の関係をつかむことができる。	○第7・8段落を読みその役割について考える。 ・6段落と7段落の関係を考える。 ・「アップ」と「ルーズ」が目的によって使い分けられていることを捉える。 *7・8段落までの「上手な説明の仕方」を書く。	【読】写真と文章を対応させる説明の仕方を読み取っている。(発言・ノート)
7 8	全文を読み返して段落の役割を捉え、文章全体の構成をつかむことができる。	○全文を読んで、それぞれの段落の役割を考える。 ・段落の内容を短くまとめる。 ・文章全体を3つにわけ、段落の相互のつながりを考える。 ・小見出しをつける。	【読】対比しながら述べる説明のしかたを捉え、文章全体の構成と段落相互の関係を理解している。(ノート)
9	「アップとルーズで伝える」の説明のよさを「上手な説明のしかた」としてまとめることができる。	○全文を読み、筆者の説明の仕方や工夫についてまとめる。 ・説明のよさを整理する。 *「上手な説明の仕方」をまとめる。	【読】上手な説明の仕方をまとめている。(ノート)
第三次 身についた力を活用して委員会リーフレットを書く。			
10 11	リーフレットにまとめた委員会を選び情報を集めることができる。	○リーフレットを作るための取材メモを作り取材する。 ・委員会を決め、インタビューのメモを作る。 ・取材をする。	【関】読み取ったことを生かしてリーフレットを作ろうとしている。(観察)
12 15 16	集めた情報から載せる内容と写真を選び、二次でまとめた説明の工夫を使ってリーフレットを作る。	○取材したことをもとに、リーフレットにまとめる。 ・「上手な説明の仕方」をもとにリーフレットの構成を考える。 ・写真と文章対応させて「委員会リーフレット」を完成させる。 ・作ったリーフレットを見直す。	【書】内容のまとまりごとに段落に分けて書いている。(作品) 【書】写真と文章を対応させて書いている。(作品) 【言】句読点を適切に打ち、必要な箇所は改行して書いている。(作品)
17	リーフレットの交流会をして、よさを伝え合うことができる。	○リーフレットを紹介する。 ・4年2組へリーフレットの紹介をする。 ・交流会した感想を発表する。	【書】作ったリーフレットを紹介し合い、よさを見つけて伝えている。(発言)
18	学習を振り返りまとめる。	○自己評価をする。 ・リーフレットを作る活動を通してできるようになったことなどを振り返る。	【関】単元を通して学んだことや身につけた力について振り返り、学習の成果をかんじている。(ノート)
<p>＜教材の発展＞</p> <p>⇒ 4年「ウナギのなぞを追って」 ⇒ 5年「天気を予想する」</p>			

4 本時の指導（6 / 18）

(1) 目標

○「アップ」と「ルーズ」が目的に応じて使い分けられていることを読み取るとともに、段落相互の関係をつかみ上手な説明の仕方がわかる。

(2) 本時の指導にあたって

・「アップ」と「ルーズ」についてどのように書いているかを読み取った後に、ペアで自分の考えを確認する。さらに、学び合いの中で、類比について深めるために、ペアで考えさせる場を設定する。

(3) 展開

段階	学習活動・学習内容	指導上の留意点・評価
つかむ・見通す 7分	1 前時までの学習を振り返る。 ・「アップ」と「ルーズ」の長所と短所 ・段落どうしの関係 2 本時の学習課題を確認する。 段落の役わりを考え、上手な説明の仕方を みつけよう。 3 課題解決の見通しを持つ。 ○7・8段落では何について書いているのか。 ・7段落は新聞について ・8段落はまとめ（7段落と全体）	・学習コーナーにおいて、4・5段落の長所や短所を確認する。 ・3段落の問いの答えを確認。その後は何について書いてあるのか考えさせながら6段落の役割について確認し、学習課題を確認する。 ・板書を使いながら6段落と7段落の関係（類比）を予想させる。 ・7・8段落は、何について書いているのかを確認し、学習の見通しを持たせる。
考える 10分	4 学習場面を音読する ○7・8段落の音読 5 一人学びをする ○ノートに7・8段落は、「アップ」と「ルーズ」について、どのように説明しているのか書く。 7段落…新聞にも ・伝えたい内容に合わせてどちらかの写真が使われている。 ・組み合わせることもある・ ・目的にいちばん合うものを選んで使う。 8段落…テレビでも新聞でも ・受けての知りたいことは何か、送り手が伝えたいことは何かを考えてアップかルーズかを決める。	・指名音読で読ませる。 ・7段落の新聞「も」に着目させながら、アップとルーズについてどんな役割があるか、短くまとめさせる。 ・6段落でまとめたことを振りかえさせる。また、新聞でも「も」の使い方について、別な例を挙げて考えさせる。（個への支援） ・8段落は何について書いているか短くまとめる。 ・ペアで、自分の考えを確認し合う。
深める 学び合いの場 20分	6 学び合う ○7段落の役割についての話し合い。 ○なぜ、筆者は新聞を例にあげたのかペアで話し合う。 ・新聞にも・・・写真 アップとルーズ 目的にいちばん合うものを選んで使う。 ○8段落の役割についての話し合い。 ・受け手、送り手とは何か 受け手…テレビや新聞を見る側 送り手…テレビや新聞を伝える側 ・受け手が知りたいことや送り手が伝えたいことは何か。 送り手は、受け手が何を知りたいか考えてアップかルーズかを決めている。	・なぜ、筆者は新聞を例にあげたのかペアで話し合い、テレビの映像と類比（別の例）して説明していることを確認し、これも上手な説明の仕方だということを確認する。 ・各社の新聞（同じ日の同じ話題）を準備しておき、新聞社がどのような写真を選んでいるのかを比べることにより、何を伝えようとしたのか推測させる。 ・受け手が知りたいことは何か、送り手が伝えたいことは何かを確認し、8段落は、7段落のまとめでもあり全体のまとめでもあることを確認する。

<p>まとめ 8分</p>	<p>7 学習のまとめをする。 ○学習したことを振り返る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>写真でのアップかルーズを選ぶときは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的にいちばん合うものを選んで使う。 ・受け手が何を知りたいか考えて決める。 ・最後に、一番に言いたいことをまとめて書く。 </div> <p>8 本時の学習を振り返る ○自己評価 ＜自己評価の観点＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習のがんばり ・学習で分かったこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめを、上手な説明の仕方として本時のまとめとする。黒板を振り返りながら確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><評価> 段落相互の関係から上手な説明の仕方を読み取ることができ。(発言・ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個への支援：黒板に書いてあることを確認しながら、色チョークをヒントにする。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習を通して、身につけた力が実感できるように学習のがんばり(◎○△)と学習内容について感想の2項目の観点で振り返りをさせる。 ・次時は、文章全体を振り返り構成を確かめさせることを確認する。
-------------------	---	--

5 板書計画

「アップとルーズで伝える」 中谷 日出

課題
段落の役わりを考え、上手な説明の仕方をつつけよう

まとめ

新聞(写真)のアップかルーズかを選ぶときは

- ・目的に一番合うものを選ぶ。
- ・受け手が何を知りたいのかを考えて決める。
- ・一番言いたいことは、最後にまとめる。

⑧ 伝えたいこと

送り手 → 受け手

⑦のまとめと全体のまとめ

⑧ テレビでも新聞でも
何を知らたいのが考えてアップかルーズかを決める。

受けて・・・テレビ・新聞を見ている側 「わたしたち」
送り手・・・テレビ・新聞を伝える側

⑦ 写真にも 「新聞」
目的に一番合うものを選んで使う。

⑥ ⑦ ⑧

テレビ 新聞(写真) 二つのもので比べている。

⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④

⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④

⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④

⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④

⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④

「アップとルーズで伝える」

中谷 日出

課題

段落の役わりを考え、上手な説明の仕方を見つけてよう



⑦

◎写真にも

「新聞」

目的に一番合うものを選んで使う。

⑥

テレビ 新聞「写真」

二つのもので比べている。

⑧

◎テレビでも新聞でも

何を知らたいのか考えてアップかルーズかを決める。

受けて・・・テレビ・新聞を見ている側 「わたしたち」
送り手・・・テレビ・新聞を伝える側

伝えたいこと

送り手



受けて

知りたいこと

⑧ ⑦のまとめと全体のまとめ

まとめ

新聞（写真）のアップかルーズかを選ぶときは

- ・目的に一番合うものを選ぶ。
- ・受け手が何を知らたいのかを考えて決める。
- ・一番言いたいことは、最後にまとめる。

ふりかえり